

## 市長の窓

しげ のぶ  
滋宣の



ぼう ちゅう かん      あん ちゅう めい  
“忙中閑あり暗中明あり”

その 48

～ おなもみ ～

キク科の一年草で路傍や荒地に自生する雑草で、高さ30～100cm。茎・葉には粗毛があり、葉は浅く三裂します。

こう言われてもどんな草だか、ピンとくる人はどれくらいいるでしょうか？

この草の実<sup>み</sup>はアーモンドくらいの大きさと形で、子どもの頃、かぎ状のトゲがいっぱいついた実を友達と投げ合っ<sup>つ</sup>て、服につけて遊んだことがあると思いますが、あの実です。あれが「おなもみ」です。

私は、今までこの草の名前を知りませんでした。60年生きてきて初めて知りましたが、皆さんはどうでしょうか？

「お」は雄、「なもみ」は蛇にかまれた時に葉を揉んでつけることから、生揉みの意味です。漢字で「萇耳」と書きますが、中国ではこの実をイヤリングに見立てたことに由来するものだそうです。

をなもみをくっつけ合うておくれゆく  
(近藤忠)

能代市長 齊藤 滋宣



9月20日、能代警察署前で行われた秋の全国交通安全運動出発式に出席しました。